

第5回竜王町総合計画審議会 会議録

日時：令和2年12月16日（水）19：00～20：45

場所：竜王町防災センター 2階大会議室

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

第六次竜王町総合計画（案）の全体像

4 グループワーク

まちの将来像

5 その他

6 閉 会

【出席委員】

市岡、井手、勝見、北村、瀧川、谷村、西村悠哉、西村三代司、松瀬、竹井、森島、吉田

【欠席委員】

谷、谷口、石橋

※敬称略、順不同

1 開会

事務局：定刻となりましたので第5回竜王町総合計画審議会を始めます。寒い中、ご出席いただきありがとうございます。今回はこれまでの話し合っていた内容（将来像、人口フレーム、土地利用）について、事務局にてこれまでのとりまとめを行いましたので、それぞれのお立場で日頃感じられていることについてご意見をいただきたいと思います。この審議会は記録のために録音・写真撮影させていただきますのでご了承下さい。

2 挨拶

事務局：開会にあたり、杼木副町長よりご挨拶いたします。

副町長：こんばんは。前回申し上げた職員の不幸事について、本日起訴されました。再発防

止に努め、一日でも早く信頼回復に努めたいと思います。また、東近江市で鳥インフルエンザが発生しました。町内にも養鶏業者があり、現在発生は確認されていませんが、滋賀県では対策本部を立ち上げています。この審議会は月2回のペースでお願いしてきましたが終盤に差し掛かっています。年末のあわただしい中、お体にお気を付けください。本日はよろしくお願いします。

事務局：ありがとうございます。続きまして、西村会長からもご挨拶いただきます。

会長：こんばんは。第5回ということでお集りいただきありがとうございます。雪も心配ですので、短時間で終わっていきたいと思います。ご協力をお願いします。

事務局：それでは早速ですが議事に移ります。議事進行は会長をお願いします。

3 議事

第六次竜王町総合計画（案）の全体像について

【事務局より、資料に基づき説明した】

会長：ご意見・ご質問がありましたらご遠慮なく出してください。

人口の見通しを10年単位で掲げていますが、例えば10年後に工場か何かができて、人口目標を達成できたということで、果たして良いのでしょうか。もう少し細かく、5年ごとなど設定してはどうでしょうか。

事務局：総合計画の目標としては10年後のものとしても、この下にもう一つの計画を持つことが必要だと思います。小学校跡地の住宅地については5年後から開発することとなりますが、須恵の町有地は比較的早く開発が進むことも考えられます。この時期にはこんなことがあるなど、積上げて示せるように努力します。

谷村委員：まちづくりの柱が3つ示されていますが、この5年はこれをやる、ということを決めた方が分かりやすいのではないのでしょうか。手広くやりすぎて具体的に何をしていくのかが分からない感じがします。この下に具体論が出てくるとのことですが、ポイントを絞って、1点集中的にした方が良いと思います。3つの柱も漠然としすぎています。

事務局：基本構想で示していく部分は議会の議決が必要になりますので、ある程度網羅的な表現が必要になります。基本計画では強弱をつけるような示し方をしていきます。

谷村委員：強弱の強はどこになるのでしょうか。

事務局：総合計画は行政運営のマニュアルという側面もありますので、行政がやることとして漏れなく記載する必要があります。対象者が少ない事業でも行政としてやらなけ

ればいけないことがあります。忘れ物がないように検討しながら、この5年でまずやっていこうという部分は、重点プロジェクトとして表に出していくことも必要だと思っています。人口の目標を含めて達成できる取組を出していきたいと思っています。

副町長：柱はキャッチフレーズ的なものですが、目に見える取組がわかりづらいかもしれません。第五次竜王町総合計画でも前期5年間の重点プロジェクトを具体的に示しています。そのような形で次の5年間でこれをやっていくというものを挙げていきます。

谷村委員：町民が見て分かる計画にする必要があります。コンパクトシティ化構想は浸透してきていますが。

事務局：みんなが同じ方向を向くのが大事だと思います。見える化できるものはしていきます。

会長：他にありませんか。グループワークでもいろいろと意見を出していただければと思います。

4 グループワーク

事務局：ここからは隣のテーブルに移って、これまでの議論を踏まえて、改めて将来像についてご意見をいただきます。具体的な施策も含めてご検討をお願いします。

《まちの将来像に関するグループワークの実施》

事務局：活発なご議論をいただきありがとうございます。各グループでお話いただいた内容を紹介します。

事務局：示された3つの案について、町内の人向けの竜王町のイメージになっているのではないかと、町外の人をターゲットにするような表現が必要であるという意見がありました。また、大胆なチャレンジをしていくべき、民間の力を活用すべき、子どもや子育ての支援を充実すべきという意見が出されました。さらに風景に魅力を感じる人が多いということでそういった面もアピールすべきではという意見もありました。

井手委員：こちらのグループでは、3つの案が総花的なイメージであるため、ストレートにわかりやすい将来像を示すべきとの意見が出ました。例えば「若者が住みたいと思える活力のあるまち竜王町」とするなど、子育て世代や女性を特に意識したものとするべきということでした。若者が住みたいと思えるというのは、活力だけでなく竜王町ならではの自然の美しさもあります。若者が住みたくて、活力があるというのは便利さとか大都会の良さがイメージされるので、言葉を選ばないといけないという意見もありました。コミュニティの維持の話もあり、新しい形の若者にとって心地

よく過ごせるコミュニティが必要という議論になりました。

事務局：ありがとうございました。両方のグループで共通している部分もあったかと思います。本日晒した案は現在の竜王町の捉え方に寄りすぎていたのではと感じました。これから竜王町が変わっていくことが伝わるようなイメージになるよう、将来像、計画内容を検討していきたいと思います。

5 その他

事務局：本日いただいた意見を取りまとめて、さらに積上げていきたいと思います。その他事務局からの連絡をお願いします。

事務局：本日の意見をブラッシュアップして次回に改めてお示しさせていただきます。また、1月からの日程について、来週中にはお伝えしますが、正式な案内は1月にお届けします。また、第2回、第3回の議事録について、ホームページに掲載するので文言等不具合があればお伝えください。

事務局：閉会にあたりまして、勝見副会長からご挨拶をいただきます。

6 閉会

副会長：ありがとうございました。第五次竜王町総合計画の将来のまちの姿は町行事などで耳にする機会が多かったと思います。本日の意見が基準となって、次回ブラッシュアップされたものが出てくるとと思いますが、楽しみな反面、少し不安な面もあります。10年間の方向性が決まるので、きちんと我々の意見を出して、後悔のないようにしていただきたいと思います。言葉の持つ重み、パワーもあるので、しっかりつめていかないといけません。事務局も日程はタイトだと思いますがよろしくお願いします。

事務局：ありがとうございました。閉会にあたりまして総務主監がお礼を申し上げます。

総務主監：お疲れさまでした。貴重なご意見ありがとうございます。議会の委員会で総合計画について説明しました。その中で第五次竜王町総合計画の14,000人と比べ11,000人は現実的な数字ということですが、中身については若い人、女性が増やさないということで、本日の話でも若い人を増やすために外から入ってくることが非常に大事ということを感じました。皆様の意見をしっかり反映していければと思います。10月からタイトなスケジュールでお願いしており、感謝申し上げます。ちょっと早いですが、良いお年をお迎えください。ありがとうございました。